



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



原発再稼働ストップ

国連グテーレス事務総長が警鐘

熱中症警戒アラート続く中、今度は強力台風襲来 気候崩壊をくい止めよう！

能登半島地震 被災地の今

8月19日、20日、服部耕一長岡市議、倉茂政樹新潟市議と共に、石川県内灘町と穴水町の仮設住宅を訪問し、遠藤れい子前県議から預かった米、水、カボチャじやがいも、ニンジンなどの支援物資を届けました。

能登半島地震で被災された皆様は、「地震の時、玄関が陥没して水が吹き出し、次には泥水が吹き出した。あつという間に膝まで埋まってしまい、とつても怖

気候危機打開のためには原発でなく、
省エネ・再エネこそ大事！

8月20日、遠藤れい子前県議は長岡市内の住宅街で政策を訴えました。家の中から拍手してください



街頭でお話する遠藤れい子

方もありました。長岡市の防災ラジオは、「熱中症警戒アラート」が発表されています。不要不急の外出をお控えください！と伝えていきます。立ってるだけで熱気が上がってきて、汗が流れる気温でしたが、すっかり街頭からお話しました。



8/19内灘町西荒屋地区は何も変わらず

かった。8ヶ月経ったけど、前の道路もでこぼこ。液化化でやられた自宅も当時のまま。外見の判定は半壊だが、とつても住める状況がない。水道や下水管など

はむちゃくちゃに壊れて、直すには600万円かかると言われた。高齢だし、地盤が沈んだり浮き上がったりで修繕などできつくない。仮設住宅は2年間と言われていいが、この先どうしてよいかわからない。安

8月19日、中之島ふるさとを守る会の「巻原発反対運動を振り返って」学習会に参加して、桑原三恵さんのお話を伺いました。

当時30代の子育て中の桑原さん、こどもを被ばくさせたくない、原発反対の強い思いがあるのに行動しないで見ているだけでいいのか？と、仲間と共に大変だけど楽しく活動を進めた経験を話された。

原発再稼働の判断は県民投票で

柏崎刈羽原発再稼働の是非を県民が直接投票で意思表示する。再稼働を先延ばしにする運動が必要だと熱く語られました。

県民が直接意思表示する運動で、こどもたちに美しく安心してくらせるふるさとを残してやりたいですね。

遠藤れい子の笑顔でファイト

国の動きをとめるのは大変だが、あきらめない。建設をできるだけ延ばしてればその内に情勢が変化す



8/19 桑原三恵さんと遠藤れい子

(遠藤れい子事務所 山田栄作)